

国 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新しい国語
11	学	図	中学校国語
15	三	省 堂	中学生の国語 中学生の国語 学びを広げる
17	教	出	伝え合う言葉 中学校国語
38	光	村	国語

2 教科書の調査研究における観点、視点及び方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元・教材の目標の示し方	目標の示し方
		②	基礎的な言語の定着	新出漢字の示し方，重要語句の示し方，言語・漢字・文法の扱い
		③	伝統と言語文化に関する内容の記述	我が国の言語文化に関する単元の数，単元名，取り上げられている古典等
(イ)	学習方法の工夫	④	興味・関心を高めるための工夫	身近な話題や社会の出来事を取り上げた単元名，教材名，学習目標，作品等の具体例
		⑤	課題解決的な学習を実施するための工夫	単元名・教材名，課題等，学習の手引きの概要
		⑥	見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫	単元名・課題，学習過程の記載例，見通しを立てせるための資料等
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	単元・教材等の配列	配列の特徴・総単元数・三領域一事項ごとのページ数
		⑧	発展的な学習に関する内容の記述	発展的な学習の示し方，種類，教材名，教材数，ページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑨	巻末資料の示し方	巻末資料の示し方と内容及びページ数
		⑩	本文記述との適切な関連付けがなされた図表の活用	文章と図表との関連について考えさせる教材名，ページ数，学習目標，図表等の種類
(オ)	言語活動の充実	⑪	読書と情報活用	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数等，情報活用・図書館活用に関わる内容
		⑫	言語活動の種類	学習指導要領に示された言語活動例にかかわる内容の記述

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元・教材の目標の示し方
方法	目標の示し方

	目標の示し方	第2学年 教材名「走れメロス」における目標の示し方
		上段：単元名，教材名，下段：目標
東 書	□ 各単元の扉に教材名，教材の学習目標を示している。	6 読む〔文学二〕 「走れメロス」 □ 人物や情景の効果的な描写に着目して，作品を読み深める。 □ 場面の展開や表現の仕方について，自分の考えをまとめる。
学 図	☆ 各単元の扉に単元の目標，教材名，教材の学習目標を示している。 □ 「学習の目標」「知識や技能」に分けて示している。	3 発見と行動 「走れメロス」 ☆ 言葉を吟味して人と社会についての認識を深めよう □ さまざまな立場から出来事や心情を考えよう。
三省堂	☆ 各単元の扉に単元の目標，教材名を示している。 □ 教材の冒頭に，学習活動を通してつきたい力として示している。	理解力1 「走れメロス」 ☆ 的確に読み解く □ 課題をもって読もう 登場人物の生き方や考え方について，自分の考えや意見をもつ。
教 出	□ 教材の冒頭ページに，見出し，2～3文の目標を示している。	読むこと 「走れメロス」 ☆ ものの見方や考え方について □ 語り手は，登場人物の心情や言動をどのように語っているだろうか。また，『走れメロス』という物語から，どのような人間の生き方がみえてくるだろうか。自分の考えをまとめよう。
光 村	☆ 各単元の扉に単元の目標，教材名を示している。 □ 教材の冒頭ページに学習目標を示している。	7 自分を見つめる 「走れメロス」 ☆ さまざまな視点から，人間についての理解を深める □ 作品を読み，登場人物の行動や考えについて，自分の考えをもつ。 □ 描写や会話に着目しながら，登場人物の人物像の変化を読み味わう。

(注) ☆は単元の目標を表し，□は学習目標を表す。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②基礎的な言語の定着
方法	新出漢字の示し方, 重要語句の示し方, 言語・漢字・文法の扱い

		第1学年							
		新出漢字の数及び脚注等への示し方	重要語句の脚注への示し方とその数			言語 (ページ数)	漢字 (ページ数)	文法 (ページ数)	
東 書		<ul style="list-style-type: none"> ○ 374 字 ○ 脚注に行数, 音訓, 用例とともに示している。 ○ 巻末に「新出漢字一覧」として, ページ数, 音訓, 部首, 画数, 筆順, 用例とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。 	マーク	マークの意味	数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語探検 <ul style="list-style-type: none"> ・音声の働きや仕組み (2) ・つなぐ言葉・指し示す言葉 (2) ・語の意味と文脈 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字道場 <ul style="list-style-type: none"> ・漢和辞典の使い方 (2) ・活字と書き文字・画数・筆順 (2) ・音読み・訓読み (2) ・漢字の部首 (2) ・漢字の成り立ち (2) ・新しい常用漢字 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の窓 <ul style="list-style-type: none"> ・文法とは・言葉の単位 (1) ・文の成分・連文節 (1) ・単語の分類 (1) ・名詞 (1) ・連体詞・副詞・接続詞 (1)
				意	意味調べ	76			
				文	短文作り	31			
				類	類義語調べ	65			
				対	対義語調べ	11			
学 図		<ul style="list-style-type: none"> ○ 387 字 ○ 脚注に行数とともに示している。 ○ 教材末にページ数, 音訓, 用例とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。 	マーク	マークの意味	数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉と生活・言葉と文化 <ul style="list-style-type: none"> ・発音と表記他 (6) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を見抜く <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の成り立ち (5) ・声符による漢字の読み (4) ・部首による漢字の意味 (4) ・漢字の書体 (4) ・旧字体と新字体・簡易慣用字体 (4) ○ 漢字のコラム <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりとしての漢字学習 1～4 (4) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・文節他 (1) ・品詞分類 (1) ・名詞・代名詞 (1) ・副詞・連体詞 (1) ・指示語 (1) ・接続詞・感動詞 (1) ○ 文法を考える <ul style="list-style-type: none"> ・主語の形 (1) ・品詞分類 (1) ・体言(名詞)を作る助詞「の」 (1) ・感想の副詞 (1)
				意	意味調べ	64			
				文	短文作り	23			
				類	類義語調べ	10			
				対	対義語調べ	11			
三 省 堂		<ul style="list-style-type: none"> ○ 400 字 ○ 巻末に「1年生で習う漢字辞典」としてページ数, 音訓, 部首, 画数, 筆順用例とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。 	マーク	マークの意味	数	<ul style="list-style-type: none"> ○ ㊦ <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の字体・画数・筆順 (2) ・類義語辞典の活用 (2) ・接続語・指示語 (2) ・漢字の部首と成り立ち (2) ・言葉の単位・文節の関係 (2) ・音声のしくみとはたらき (2) ・単語の類別・品詞 (2) ・漢字の音と訓 (2) ・効果的な表現方法 (2) ・文脈上の意味と用法 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を使いこなそう 小学校で学んだ漢字①～⑩ (10) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法を身につけよう <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (1) ・分節の関係・連文節・文の成分 (3) ・単語の類別・品詞 (1) ・名詞 (1) ・副詞・連体詞・接続詞・感動詞 (2)
				意	意味調べ	55			
				短	短文作り	13			
				類	類義語調べ	10			
				対	対義語調べ	11			

教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 372 字 ○ 脚注, 該当の漢字が出てくる行の下に音訓とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語の研究室 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の文学 (4) ・日本語の音声 (4) ・熟語の構成 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の広場 <ul style="list-style-type: none"> ・画数と活字の字体 (1) ・漢字の部首 (1) ・漢字の音と訓 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉のきまり <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (3) ・文の成分 (7) ・単語のいろいろ (6) 			
						マーク	マークの意味	数
						意	意味調べ	55
						文	短文作り	16
						同	同音語句調べ	1
						類	類義語調べ	6
						対	対義語調べ	1
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 380 字 ○ 脚注に行数, 本文中での読みとともに示している。 ○ 教材末にページ数, 音訓, 用例とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉に出会うために一声を届ける (2) ○ 言葉を集めようーもっと「伝える」表現をみざして (2) ○ 言葉1 <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉 (2) ○ 言葉2 <ul style="list-style-type: none"> ・指示する語句と接続する語句 (2) ○ 言葉3 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな表現技法 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字1 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立てと部首 (2) ○ 漢字2 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の音訓 (1) ○ 漢字3 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の成り立ち (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法への扉1 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉のまとまりを考えよう (1) ○ 文法1 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (1) ○ 文法への扉2 <ul style="list-style-type: none"> ・だれが・なにを・どうする? (1) ○ 文法2 <ul style="list-style-type: none"> ・文の組み立て (1) ○ 文法への扉3 <ul style="list-style-type: none"> ・単語の性質を見つけよう (1) ○ 文法3 <ul style="list-style-type: none"> ・単語の分類 (1) 			
						マーク	マークの意味	数
						意	意味調べ	52
						文	短文作り	29
						類	類義語調べ	3
						対	対義語調べ	5
						関	関連語句調べ	5

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③伝統と言語文化に関する内容の記述
方法	我が国の言語文化に関する単元の数，単元名，取り上げられている古典等

	学年	単元の数 (ページ数)	単元名	取り上げられている古典や近現代の文学作品等	
東 書	1	2 (19)	○ 古典 ・さまざまな古典作品を知ろう ・伊曾保物語 ・竹取物語 ・矛盾	・『伊曾保物語』 ・『竹取物語』 ・「矛盾」(『韓非子』)	
			○ 日本語のしらべ	・「月夜の浜辺」(中原中也)	
	2	4 (50)	○ 読む[言語感覚] ・短歌を楽しむ	・道浦母都子，正岡子規や斎藤茂吉等の短歌	
			○ 古典 ・枕草子 ・徒然草 ・平家物語 ・古典芸能に親しもう ・漢詩	・『枕草子』 ・『徒然草』 ・『平家物語』 ・能「高砂」より ・杜甫や李白の漢詩，能，浄瑠璃	
			○ 日本語のしらべ	・「落葉松」(北原白秋)	
			○ 読む[文学二]	・『走れメロス』(太宰治)	
	3	4 (36)	○ 読む[言語感覚] ・俳句の読み方，味わい方	・片山由美子，高浜虚子や中村草田男等の俳句	
			○ 読む[文学一]	・『形』(菊池寛)，「松山新介の勇将中村新兵衛が事」(『常山紀談』)	
			○ 古典 ・万葉・古今・新古今 ・おくのほそ道 ・論語 ・古典の言葉を味わおう	・額田王や柿本人麻呂等の和歌(『万葉集』)，在原業平や源宗干等の和歌(『古今和歌集』)，藤原定家や西行法師等の和歌(『新古今和歌集』) ・『おくのほそ道』 ・『論語』 ・古事記等の言葉	
			○ 日本語のしらべ	・「初恋」(島崎藤村)	
	学 図	1	1 (35)	○ 時を超えて ・言葉の向こうに ・姫の物語？翁の物語？ ・とらわれた心に突き立つ矢 ・故事成語 ・春秋の優劣	・『徒然草』 ・『竹取物語』 ・『宇治拾遺物語』 ・「五十歩百歩」(『孟子』)，「矛盾」(『韓非子』) ・額田王の和歌(『万葉集』より)，『徒然草』
				○ 命の交差 ・短歌	・『ありのすさび』(佐藤正午)，俵万智や正岡子規等の短歌
2		3 (59)	○ 発見と行動	・『走れメロス』(太宰治)	
			○ 時の中で ・言葉の力 ・源平争乱の歴史語り ・人の世と人の心のスケッチ ・論語 ・『言葉に託された心—作者の思い』	・『古今和歌集 仮名序』 ・『平家物語』 ・『徒然草』 ・『論語』 ・紀貫之，紫式部等の言葉	
			○ 命の共鳴 ・俳句	・『俳句という愉しみ』小林恭二，高浜虚子や水原秋桜子等の俳句	
3		3 (57)	○ 今に向かって ・言葉との出会い ・歌の源流へ ・発見する言葉 ・漢詩 ・言葉が見た風景 ・異界を捉える言葉	・持統天皇や有間皇子の和歌(『万葉集』)，紀友則や藤原敏行等の和歌(『古今和歌集』) ・『枕草子』 ・「春望」，「元二の安西に使ひするを送る」，「静夜の思ひ」 ・『おくのほそ道』 ・『遠野物語(抄)』(柳田国男)	
			○ 文字を見抜く4 ・平仮名と片仮名	・『万葉集』，『古今和歌集』等	

三省堂	1	3 (23)	○ 言語文化にふれる ・声に出して、さまざまな作品を読もう ・竹取物語	・「朧月夜」(高野辰之), 持統天皇や紀貫之等の和歌, 松尾芭蕉や与謝蕪村等の俳句, 『枕草子』, 『徒然草』, 『平家物語』, 「春暁」, 『論語』 ・『竹取物語』
			○ 判断して説明する	・「雨ニモマケズ」(宮沢賢治)
			○ さまざまな見方・考え方を知る ・「故事成語」を使って書こう	・「矛盾」(『韓非子』)
	2	4 (27)	○ 言語文化を楽しむ ・枕草子・徒然草 ・漢詩の世界	・『枕草子』, 『徒然草』 ・「黄鶴楼にて、孟浩然の広陵に之くを送る」, 「春望」, 「絶句」
			○ 的確に読み解く	・『走れメロス』(太宰治)
			○ 判断して説明する ・短歌の世界	・石川啄木や北原白秋等の短歌
			○ さまざまな見方・考え方を知る ・平家物語	・『平家物語』
	3	5 (27)	○ 言語文化に親しむ ・おくのほそ道 ・中国の古典の言葉	・『おくのほそ道』 ・『書経』, 『漢書』, 『後漢書』, 『十八史略』, 『史記』, 『論語』
			○ 判断して説明する ・俳句の世界	・河東碧梧桐や石田波郷等の俳句
○ さまざまな見方・考え方を知る ・好きな和歌を紹介しよう			・額田王, 柿本人麻呂の和歌(『万葉集』), 在原業平, 紀貫之等の和歌(『古今和歌集』), 宮内卿, 西行法師等の和歌(『新古今和歌集』)	
○ 論理的・多角的に考える ・高瀬舟			・『高瀬舟』(森鷗外)	
○ さまざまな見方・考え方を 知る ・詩二編			・「初恋」(島崎藤村)	
教出	1	7 (42)	○ できごとを読む, 構成や展開を読む	・『オツベルと象』(宮沢賢治)
			○ 百年後, 千年後の友人であるあなたへ	・川柳, 『東海道中膝栗毛』
			○ 物語の始まり	・『竹取物語』
			○ 中国の名言	・「矛盾」(『韓非子』), 「大器晩成」等
			○ 読書への招待	・『蜘蛛の糸』(芥川龍之介)
			○ 落語	・落語「三方一両損」
			○ 月と古典文学	・小林一茶の俳句, 『竹取物語』, 「静夜思」(李白)
	2	9 (60)	○ 近代の短歌	・石川啄木や斎藤茂吉等の俳句
			○ 直実の流した涙	・『平家物語』—「敦盛の最期」—
			○ 随筆の味わい	・『枕草子』, 『徒然草』
			○ 孔子の言葉	・『論語』
			○ 物語を読み解く	・『ごんぎつね』(新美南吉)
			○ ものの見方や考え方について	・『走れメロス』(太宰治)
			○ 読書への招待	・『坊ちゃん』(夏目漱石)
	○ 歌舞伎	・歌舞伎「外郎売り」		
	○ 古典の中の擬声語・擬態語	・『古典の中の擬声語・擬態語』山口仲美		
	3	8 (35)	○ 近代の俳句	・高浜虚子や河東碧梧桐等の俳句
			○ 旅への思い	・『おくのほそ道』
			○ 和歌の調べ	・山部赤人や持統天皇等の和歌(『万葉集』), 紀貫之や藤原敏行等の和歌(『古今和歌集』), 藤原定家や西行法師等の和歌(『新古今和歌集』)
			○ 春の山河	・「黄鶴楼にて、孟浩然の広陵に之くを送る」(李白), 「春望」(杜甫)
			○ 表現上の工夫	・『初恋』(島崎藤村)
○ 読書への招待			・最後の一句(森鷗外)	
○ 狂言			・狂言—「しびり」—	
○ 古典の歌, 現代の歌	・『古典の歌, 現代の歌』佐佐木幸綱			

光 村	1	4 (32)	○ 季節のしおり（春，夏，秋，冬）	・「朧月夜」，「小諸なる古城のほとり」，「海」，「薔薇二曲」，「紅葉」，「一つのメルヘン」，「冬景色」
			○ 豊かな言葉 ○ いにしへの心にふれる ・いろは歌 ・七夕に思う ・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉	・『はじめての詩』（荒川洋治）中に，「山林に自由存す」（国木田独歩） ・『いろは歌』 ・『万葉集』，『徒然草』，松尾芭蕉の俳句 ・『竹取物語』，『今に生きる言葉』 ・「矛盾」（『韓非子』）
			○ 故事成語を使って体験文を書こう	・「漁夫の利」
	2	6 (18)	○ 季節のしおり（春，夏，秋，冬）	・『枕草子』，中村汀女や芥川龍之介等の俳句，山上憶良の和歌や島木赤彦の短歌，『雪国』，『幽霊一或る幼年と青春の物語』
			○ 広がる学びへ ・枕草子	・『枕草子』
			○ 豊かな言葉 ・新しい短歌のために ・短歌十二首	・『新しい短歌のために』（馬場あき子）中に，正岡子規，斎藤茂吉等の短歌 ・窪田空穂や若山牧水等の短歌
			○ いにしへの心を訪ねる ・音読を楽しもう 平家物語 ・扇の的 ・仁和寺にある法師 ・漢詩の風景	・『平家物語』冒頭 ・『平家物語』扇の的 ・『徒然草』仁和寺にある法師 ・「春暁」（孟浩然）「絶句」（杜甫）「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」（李白）等
			○ 人物の特徴をとらえて論じよう	・『平家物語』
	○ 自分を見つめる	・『走れメロス』（太宰治）		
	3	6 (49)	○ 季節のしおり（春，夏，秋，冬）	・志貴皇子や在原業平等の和歌，松尾芭蕉や与謝蕪村の俳句
			○ 豊かな言葉 ・ 俳句の可能性 ・ 俳句十六句	・『俳句の可能性』（宇多喜代子）中に，飯田龍太，正岡子規等の俳句
			○ 読書と情報	・『高瀬舟』（森鷗外）
			○ いにしへの心と語らう ・古今和歌集 ・君待つと ・夏草 ・古典の伝統	・『古今和歌集 仮名序』 ・持統天皇や柿本人麻呂等の和歌（『万葉集』），紀貫之や藤原敏行等の和歌（『古今和歌集』），西行法師や藤原定家等の和歌（『新古今和歌集』） 『おくのほそ道』夏草 『源氏物語』，藤原定家の和歌 等
			○ お薦めの古典を贈ろう	・額田王の和歌（『万葉集』）
			○ 未来へ向かって ・学んで時にこれを習ふ	・『論語』

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	身近な話題や社会の出来事を取り上げた単元名，教材名，学習目標，作品等の具体例

第2学年 書くこと (意見文)				
	単元名	教材名	学習目標	作品等の具体例
東書	書く〔論証・説得〕	○ 反対意見を想定して書こう ・意見文	○ 自分の立場を明確にして，分かりやすい構成で意見文を書く。 ○ 意見が効果的に伝わるように，根拠を具体的に記述したり，他の立場への反論を盛り込んだりする。	「私たちの生活で，映像メディアと活字メディアのどちらがより役に立っているか」
学図	書く2	○ 論を組み立てる ・意見文を書く	○ 意見文を読んで考えよう ○ 意見文を書こう	「環境を守るために必要なこと」
三省堂	表現力2	○ 課題をもって書こう ・意見文を書こう	○ 社会生活の中から課題を決め，自分の考えをまとめる。 ○ 自分の意見や立場が明確になるよう，構成を工夫して書く。	「方言の『よさ』を見直そう」
教出	書くこと	○ 構成のしっかりした文章を書くには ・「新聞の投書欄」に対する意見文を書く	○ 「構成の型」を用いて，文章を書く。 ○ 投書を読んで，自分の意見をもつ。	「小説の映画化は想像力を奪う？」
光村	論理をとらえる	○ 「立場と根拠を明確にして書こう」 ・意見文を書く	○ 立場とそれを支える根拠を明確にして，構成を工夫しながら意見文を書く。 ○ 書いた文章を読み返し，読みやすくわかりやすい文章になっているかを推敲する。	「中学生が使う辞書は，紙の辞書 電子辞書がよい」

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	⑤課題解決的な学習を実施するための工夫
方法	単元名・教材名、課題等、学習の手引きの概要

第1学年 説明的な文章			
	単元名 教材名	課題等	学習の手引きの概要
東 書	読む[構成・展開]	○ 段落の役割や、段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。	(課題) ○ 読み取る ・文章が書かれている内容からまとまりに分ける。 ・文章のまとまりの内容を要約する。
	「オオカミを見る目」	○ 筆者の文章の書き方について、自分の考えを持つ。	○ 考えを深める ・筆者の書き方に注目し、自分が参考にしたいところを見つけ、発表し合う。
学 図	命の鎖	○ 社会の中で働くということの意味について考える。	(学びの窓) ○ 社会の中で働くということの意味について考えよう。 ・書かれていることの要点をとらえる。 ・手がかりになる表現の意味を考え、話し合う。 ・取り上げられている人物の生き方について考える。 ・取り上げられている人物の気持ちを考える。 ・文章の要旨を捉える。
	「ものづくりに生きる」	○ 書かれている情報を主体的に理解する。	
三 省 堂	的確に読み解く	○ 言葉の意味を捉えながら筆者の考えを読み取る。	(学びの道しるべ) ○ ひとりで学ぶ ・第一段落と第二段落を読み、要旨をとらえる手がかりを表にしてまとめる。 ○ みんなで学ぶ ・手がかりになる言葉に注目し、課題について内容をまとめる。 ○ 学びを振り返る ・筆者の考えを考察し、自分の考えを書く。
	「ユニバーサルな心を目指して」		
教 出	事実と意見を読み分けて	○ 事実と意見を読み分け、大段落ごとに要約する。 ○ 説明の仕方の特徴を捉える。	(みちしるべ) ○ 確かめよう ・事実を箇条書きにして整理する。 ・筆者が立てた問いと、導いた答えについて話し合う。 ○ 考えよう ・グラフと筆者の着眼点について話し合う。 ・筆者の考えを文章にまとめる。 ・筆者の主張について深く考えるため、参考資料を探して読む。
	「花の形に秘められたふしぎ」	○ 文章とグラフを対応させながら、筆者の説明を整理する。	
光 村	学びをひらく	○ 本文を読んで、興味や関心をもったところを確認し合う。	(学習) ○ 確認しよう ・筆者が図をもとに挙げている事例を話し合う。 ○ 読みを深めよう ・段落ごとの要点を考える。 ・筆者の考え方をまとめている段落を見つけ、段落相互の関係を確認する。
	「ちょっと立ち止まって」	○ 段落と段落の関係に注意しながら、文章の構成を読み取る。	○ 自分の考えをもとう ・筆者の考え方を日常生活に生かせる場面について考える。

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	単元名・課題，学習過程の記載例，見通しを立てさせるための資料等

第2学年 話すこと・聞くこと			
	単元名・課題	学習過程の記載例	資料等
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「説得力のある提案をしよう プレゼンテーション」 ・聞き手の立場や考えを想定し，説得力のある話を組み立てる。 ・資料や機器を活用して，分かりやすく印象的に話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめの一步 提示資料の効果を考える。 ○ プレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> ①グループの提案を決める ②提案と理由をまとめて中間報告をする。 ③提案理由を練り上げ，話の組み立てを考える。 ④資料を準備してリハーサルをする。 ⑤プレゼンテーションと質疑応答を行う。 ○ 学習を振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の立場や考えを想定し，説得力のある話を組み立てたか。 ・資料や機器を活用して，分かりやすく印象的に話したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな提案 ・中間報告の例 ・構成表の例 ・プレゼンテーションの例
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「分かりやすく伝えようプレゼンテーション」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ プレゼンテーションについて考えよう <ul style="list-style-type: none"> ①グループで話し合う。 ②自分たちが推薦しようとするプランについて整理する。 ③プレゼンテーションの準備をする。 ○ プレゼンテーションに挑戦しよう ○ 学習を振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ①大事だと思ったことを書き出して並べる。 ②大事だと思った理由を説明する。 ③次にする時に気をつけたいことを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条件の提示 ・話し合いメモ ・ワークシートの例
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「課題をもって話そう・聞こう プレゼンテーションをしよう」 ・社会生活の中から話題を決め，集めた材料を整理して資料をつくる。 ・目的や状況に応じて，資料や機器などを効果的に活用して話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 計画を立てる。 ② 資料を集める。 <ul style="list-style-type: none"> ・事例を集める方法 ・人々の意識や意見を調べる方法 ③ 効果的な伝え方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・集めた事例を報告する方法 ・アンケート調査の結果を報告する方法 ④ リハーサルをする。 ⑤ プレゼンテーションをする。 ○ 振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中から話題を決められたか。 ・集めた材料を整理して資料を作れたか。 ・その場に応じて，資料や機器などを効果的に活用できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレイクストーミングの例 ・アンケート用紙の例
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「効果的な資料を使って話すには一調べたことを発表する」 ・資料や機器などを効果的に使い，論理的に話す。 ・相手や目的に応じて，話の展開や構成を工夫する。 ・社会生活の中で疑問に思ったことについて，調べて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 調査をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料を利用し，根拠を明確にする。 ② 自分の意見をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすさと正確さを心がける。 ③ 発表をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・論理的でわかりやすい発表を心がける。 ・資料や機器を効果的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーミングアップ（質問者と回答者のやりとりによる情報集め） ・スピーチメモ ・スピーチ例
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「印象に残る説明をしよう プレゼンテーションをする」 ・聞き手の知りたいことを想定し，論理的でわかりやすい構成を考えて説明する。 ・資料や機器を活用し，写真や図表などを効果的に組み合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 提案する事柄を決める。 ② 要点を整理し，進行案を作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・要点を整理し，説明のしかたについてアイデアを出し合う。 ・進行案を作り，説明のしかたを検討する。 ③ プレゼンテーションをする。 ④ 互いの提案を評価し合う。（交流） <ul style="list-style-type: none"> ・発表内容が目的や課題に合っていたか。 ・説明はわかりやすかったか。説得力が感じられたか。 ○ 学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・論理的でわかりやすい構成を考えて説明したか。 ・資料や機器を効果的に活用して話したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進行案の例 ・プレゼンテーションの例

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元・教材等の配列
方法	配列の特徴・総単元数・三領域一事項ごとのページ数

	配列の特徴	本文中の総単元数・ページ数					
		学 年	1	2	3	判	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文、「基礎編」,「資料編」の3部からなる。 ○ 各単元は,「話すこと・聞くこと」,「書くこと」「読むこと」の各領域を関連させたものと「言語事項」で構成されている。 ○ 古典教材は,全学年,第4単元に配列している。 ○ 基礎編は「学びを支える言葉の力」「文法解説」で構成している。 ○ 資料編は,「読む」「古典」「話す・聞く/書く」漢字資料で構成している。 	総単元数	7	7	7	B 5判	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	16	16		16
			書くこと	24	24		22
			読むこと	121	115		129
			伝統的な言語文化	16	22		18
			言葉の特徴やきまり	26	26		23
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文と言語の学習の2部からなる。 ○ 各単元は,「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域を関連させたものと「言語事項」で構成されている。 ○ 古典教材は,全学年,第4単元に配列している。 ○ 「読むこと」の学習では,習得・活用・探究の段階を踏んで構成している。 ○ メディアリテラシー単元「情報と表現」を全学年,2単元ずつ配列している。 	総単元数	5	5	5	A 5判	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	17	17		22
			書くこと	15	14		19
			読むこと	194	199		193
			伝統的な言語文化	36	29		36
			言葉の特徴やきまり	41	41		34
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本編と別冊資料編の2冊からなる。 ○ 各単元は,「話す・聞く」「書く」「読む(説明)」「読む(文学)」の各領域を関連させたものと「言語事項」で構成されている。 ○ 古典教材は,全学年,第1単元に配列している。 ○ 本編は,本文,「確かめよう」の2部から構成されている。 ○ 別冊資料編は,「言語文化編」「情報活用編」「事典編」の3部から構成されている。 	総単元数	10	10	7	B 5判	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	14	16		16
			書くこと	38	30		32
			読むこと	88	94		80
			伝統的な言語文化	14	22		10
			言葉の特徴やきまり	30	32		25
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文と付録(言葉のとびら)の2部からなる。 ○ 各単元は,領域別に「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」伝統文化と言語で構成されている。 ○ 古典教材は,「読むこと」「伝統文化と言語」にそれぞれ配列している。 ○ 付録(言葉のとびら)には,「補充教材集」常用漢字表等「データベースコラム」「学習語句一覧表」「索引」を配列している。 	総単元数	4	4	4	B 5判	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	15	17		19
			書くこと	21	19		17
			読むこと	111	118		112
			伝統的な言語文化	27	29		29
			言葉の特徴やきまり	39	51		52
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文,「文法」,「漢字に親しもう」,「学習を広げる」の4部からなる。 ○ 各単元は,「読むこと」に絞ったものが各学年1単元,それ以外は,複数領域を関連させた単元である。 ○ 古典教材は,第1学年は第4単元,第2・第3学年は第5単元に配列している。 ○ 「学習を広げる」には,「資料」「付録」「索引」を配列している。 	総単元数	6	7	7	B 5判	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	17	16		16
			書くこと	21	19		10
			読むこと	98	108		117
			伝統的な言語文化	21	22		24
			言葉の特徴やきまり	25	26		19

視点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧発展的な学習に関する内容の記述
方法	発展的な学習の示し方, 種類, 教材名, 教材数, ページ数

第3学年				
	発展的な学習の示し方	種類	教材名, 教材数	ページ数
東 書	○ 巻末の「資料編」に読み比べたり読み広げたりできる教材や, 学習に関わる資料等を載せている。	文学的な文章 説明的な文章	「いちご同盟」など2	18
		伝統的な言語文化	「恋の歌」など2 〔発展〕 古典の文法	8
		その他	「日本文学史年表」など10	41
学 図	○ 本編の「読むこと」に関わる単元が「習得」「活用」「探究」で構成されている。「探究」は, 新出漢字等を配さず, より発展的な学習として扱う。 ○ 〔発展〕と印のある資料が巻末に掲載されている。	文学的な文章 説明的な文章	「Water」など4	54
		伝統的な言語文化	〔発展〕「古典に親しむために一古典文法」など2 〔発展〕「口語・文語活用対照表」	10 折込
		その他	「注意すべき筆順」など4	30
三省 堂	○ 別冊「学びを広げる」に, 読み比べたり読み広げたりできる教材や, 学習に関わる資料等を載せている。	文学的な文章 説明的な文章	「詩の音読・暗唱」など15	47
		伝統的な言語文化	「能・歌舞伎・文楽」など4	8
		その他	「本を解剖する」など24 「名言・格言・ことわざ49+1」	97 折込
教 出	○ 巻末の「言葉のとびら」に, 読み比べたり読み広げたりできる教材や, 学習に関わる資料等を載せている。 ○ 〔発展〕と印のある折込がある。	文学的な文章 説明的な文章	「月夜の浜辺」など6	34
		伝統的な言語文化	「古典名作冒頭集」 「古典文学史年表」 〔発展〕「文語文法活用表」	2 折込 折込
		その他	「常用漢字表」など22	39
光 村	○ 巻末の「学習を広げる」に, 読み比べたり読み広げたりできる教材や, 学習に関わる資料等を載せている。	文学的な文章 説明的な文章	「二つの悲しみ」	4
		伝統的な言語文化	「受け継がれる物語ー『史記』と『項羽と劉邦』ー」など3	13
		その他	「発想を広げる」など12	47

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨ 巻末資料の示し方
方法	巻末資料の示し方と内容及びページ数

		第1学年		
		巻末資料の示し方	内容	ページ数
東 書	○ 「基礎編」「資料編」として全学年に示している。		・「学びを支える言葉の力」	18
			・「文法解説」	15
			・「読む」	11
			・「古典」	4
			・「情報」	7
			・「話す・聞く/書く」	6
			・「漢字資料」	29
			・「三年間で学ぶ『言葉の力』項目一覧」	2
学 図	○ 「言葉の学習」として全学年に示している。		・「一年生の語句・語彙の学習」	11
			・「一年生の文法の学習」	18
			・「古典に親しむために」	4
			・「今に伝わる注意したい古語」	7
			・「注意すべき筆順」	1
			・「常用漢字表・常用漢字表の付表」	25
			・「日本文学の流れ」	4
			・「口語・文語活用対照法」	折込
三 省 堂	○ 本編に「確かめよう」「便利帳」、別冊に「学びを広げる」として全学年に示している。	本編	・「確かめよう」(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと(説明)、読むこと(文学))	50
			・「便利帳」	13
			・「古典文学史年表」 ・「本の中で出会った言葉」	折込
		別冊	・「言語文化編」	73
			・「情報活用編」	21
			・「事典編」	40
			・「ブックリスト」	2
			・「学びのキーワード」 ・「小倉百人一首」	1 折込
教 出	○ 「言葉のとびら(付録)」として全学年に示している。		・「補充教材集」	38
			・「常用漢字表」	13
			・「一年で読みを学習した漢字・語」	1
			・「データベースコラム」	22
			・「学習語句一覧表」	2
			・「索引」	1
			・「小倉百人一首」	折込
光 村	○ 「文法」「漢字に親しもう」「学習を広げる」として全学年に示している。		・「文法」	17
			・「漢字に親しもう」	12
			・「資料」	38
			・「付録」	30
			・「索引」	2
			・「色いろの言葉」	2

視点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑩本文記述と適切な関連付けがなされた図表の活用
方法	文章と図表との関連について考えさせる教材名，ページ数，学習目標，図表等の種類

		第1学年			
		教材名	ページ数	学習目標	図表等の種類
東 書		脳の働きを目で見よう	11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文脈の中における語句の意味を的確に捉える。 ○ 事実と筆者の考えとを読み分けて，要旨を捉える。 ○ 文章の内容を踏まえて，脳の働きについて考える。 	脳の図， 実験結果の表
		図表を使って伝えよう 「私」の説明文	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふだんの生活を振り返って，書くための材料を集め，伝える内容を考える。 ○ 材料を分類するなどして整理し，図表にまとめたり，段落の役割を考えて文章を構成したりする。 	円グラフ，好きなものの表等
学 図		「見える」ということ	4	(本文中に示された課題) <ul style="list-style-type: none"> ○ 「対比」から発見しよう 	吹き出しの図
		隠れた世界を知る 取材をまとめて記事にする	7	(本文中に示された課題) <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに経験した出来事を見直して，その中から一つ選ぶ ○ 取材しよう ○ 記事にまとめよう 	棒グラフ
三 省 堂		食感のオノマトペ	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数値やグラフから読み取った情報を手掛かりに文章を読み進める。 	棒グラフ
		一枚レポートを書こう	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集めた材料を分類・整理して，文章の構成を考える。 ○ 調べたことについて，根拠を明確にした文章を書く。 	鉛筆の図
教 出		自分の頭で考える？	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題名と文章の構成や展開との対応関係について，自分の考えをもつ。 ○ 段落と段落をつないでいる言葉に注意して，文章の構成や展開を整理する。 ○ 筆者の問題提起と「例」との対応を一覧表にまとめ，発表する。 	マッチ棒の絵
		写真と言葉が生み出す世界 —メディアリテラシー入門—	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語表現と映像表現の相互作用に注目しよう。 	写真
		情報を選び効果的に伝えるには —図表を用いた説明—	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的に合った情報を選び，レポートの形式をふまえて，文章を組み立てる。 ○ 数値の示し方や，図表の示し方，列挙の仕方などを理解する。 ○ 図表を用いた説明の仕方について理解し，レポートを書く。 	円グラフ，地図等
光 村		ダイコンは大きな根？	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近なものについて説明された文章を読み，使われている言葉の意味や内容をとらえる。 ○ 段落の役割に着目して文章を読む。 	ダイコンと双葉の図
		流氷とわたしたちの暮らし	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章から新しく得た情報をもとに，自分の考えを広げる。 ○ 文章の中心となる部分とそれを支える部分を読み分け，筆者の述べていることを読み取る。 	写真，折れ線グラフ等
		調べたことを報告しよう レポートにまとめる	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集めた情報を工夫して整理する。 ○ わかりやすく伝えるために，書き方や構成を工夫する。 	写真，棒グラフ

観点	(才) 言語活動の充実	
視点	⑪読書と情報活用	
方法	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数等, 情報活用・図書館活用に関わる内容	

	読書に係わる内容 紹介されている書籍数	情報活用・図書館活用に係わる内容
東 書	○ 「読書への招待」 ・各学年3作品取り上げられている。 ○ 「読書案内」 ・各学年35～36冊の書籍が紹介されている。	○ 第1学年及び2学年の巻末資料編に「情報」が設けられている。
		第1学年 ・「情報の調べ方・使い方」「図表の使い方・読み取り方」
		第2学年 ・「情報を調べるときの注意点」
学 図	○ 「読書1, 2」 ・各学年4～5作品取り上げられている。	○ 各学年に「情報と表現1, 2」が設けられている。
		第1学年 ・「発想をひらく・情報を集める」等
		第2学年 ・「情報を読む 世界を編集する」等
三 省 堂	○ 本編「私の本棚」 ・各学年28～32作品取り上げられている。 ○ 資料編「小さな図書館」 ・各学年50冊の書籍が紹介されている。	○ 各学年資料編に「情報活用編」が設けられている。
		第1学年 ・「事物からの情報収集」等
		第2学年 ・「人からの情報収集」等
		第3学年 ・「目的に合わせた情報収集」等
教 出	○ 「読書への招待」 ・各学年2作品取り上げられている。 ○ 「読んでみよう」 ・各学年27～45冊の書籍が紹介されている。 ○ 巻末資料「読書案内」 ・各学年20冊の書籍が紹介されている。	○ 各学年巻末資料に「データベースコラム (情報)」が設けられている。
		第1学年 ・「情報を整理・分析しよう」等
		第2学年 ・「アンケートをとろう」等
		第3学年 ・「見つめる新聞広告」等
光 村	○ 「読書と情報」 ・各学年2～3作品取り上げられている。 ○ 「読書案内」 ・各学年37冊の書籍が紹介されている。 ○ 巻末資料「お薦めの本」 ・各学年33～34冊の書籍が紹介されている。	○ 各学年に「読書と情報」が設けられている。
		第1学年 ・「おいしい読書 読書紹介をする」等
		第2学年 ・「気になる『あの人』を探ろう メディアの特性を生かして調べる」等
第3学年 ・「読書生活をデザインしよう 未来の私にお薦めの本」等		

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑫言語活動の種類
方法	学習指導要領に示された言語活動例にかかわる内容の記述

	第2学年 「書くこと」	第2学年 「話すこと・聞くこと」
	表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりする活動 (○ 教材名, ● 学習目標等)	社会生活の中的话题について、司会や提案者などを立てて討論を行う活動 (○ 教材名, ● 学習目標等)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「短歌のリズムで表現しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ● 自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作る。 ○ 「いきいきと描き出そう 俳句から始まる物語」 <ul style="list-style-type: none"> ● 風景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。 ● 書いた物語を読み合っ、材料の活用の仕方などについて意見を交換し、自分の考えを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いで考えを広げよう パネルディスカッション」 <ul style="list-style-type: none"> ● さまざまな情報手段を使って討論のテーマを決め、自分たちの提案をまとめる。 ● 司会者やパネリストの役割を押さえ、目的に沿って話し合う。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「想像する言葉 物語・詩を作る」 <ul style="list-style-type: none"> ● 絵をもとに物語を作ろう ● 絵をもとに詩を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「対立した立場で意見を深める ディベートによる討論」 <ul style="list-style-type: none"> ● ディベートとは何か ● ディベートをしよう
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「物語をつくろう」 <ul style="list-style-type: none"> ● 伝えたいことが明確になるように表現を工夫する。 ● 文章の構成, 表現の仕方について意見を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「パネルディスカッションをしよう」 <ul style="list-style-type: none"> ● 異なる立場や考えの人にもわかるように、自分の考えをまとめる。 ● 相手の立場や考えを尊重し、目的にそって話し合う。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「心情が効果的に伝わるように書くには①ー物語を創作するー」 <ul style="list-style-type: none"> ● 人物設定をして、人物を描写する ● 人物に会話させる ● 人物と物(動物)を組み合わせる ● 学んだことを生かして、物語を創作する ○ 「心情が効果的に伝わるように書くには②ー詩を創作するー」 <ul style="list-style-type: none"> ● 人に見立てる擬人法で題名を表現する ● マッピングで発想を広げる ● 学んだことを生かして、詩を創作する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目的に沿って話し合うにはー司会や提案者を立てた話し合いー」 <ul style="list-style-type: none"> ● 相手の立場を尊重し、目的に沿って話し合う。 ● 相手や目的に応じて、話の展開や構成を工夫する。 ● 司会者や提案者を立てて話し合い、社会生活の課題を解決する。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「表現のしかたを工夫して書こう 視点を変えて物語を書く」 <ul style="list-style-type: none"> ● 気持ちや気持ちの変化が効果的に伝わるように、ある視点を定め、表現を工夫して書く。 ● 書いた文章を互いに読み合い、よりよい表現になるように助言し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合って考えを広げよう パネルディスカッションをする」 <ul style="list-style-type: none"> ● 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら自分の考えを広げる。 ● 司会や提案者などの役割を決め、目的に沿って討論する。